

教育研究推進計画

教育目標	『めあて（夢）をもち 進んで やりぬく 児童の育成』 【めざす児童像】 (1) 進んで学ぶ児童 (主体性) (児童につけたい資質能力) (2) 思いやりのある児童 (伝えあう力) (3) 健康でたくましい児童 (やりぬく力)
研究主題	自分と読書とのかかわりについての考えを深める読書教育の創造 ～子どもの読書活動に結び付く国語科授業を通して～
主題設定の理由	<p>君田は自然環境に恵まれ、地域の「ひと・もの・こと」が充実している地域である。学校への地域の方からの協力や支援は惜しみないものがあり、様々な形で本校の教育活動の充実に貢献していただいている。</p> <p>本校では、『「読書力」こそすべての学力の基礎となり、心豊かな人間性を育てるうえで極めて重要な役割を果たす』という考えのもと、1971（昭和46）年に「読書力」を高める研究と実践が始められた。以来、学校での読書指導や図書館の整備充実だけでなく、親子読書の推進やPTA 文庫の設置、地域読書会の発足など、保護者や地域も巻き込んだ読書教育の取組が続けられてきた。社会や、教育に対するニーズの変化とともに、学校の教育研究の内容も変化してきたが、子どもと本とをつなぐための取組は50年以上に渡って脈々と受け継がれており、現在でも子どもの読書環境の整備と読書意欲の向上のための取組に力を入れている。</p> <p>この間にも、子どもが言葉や表現力を獲得し人生をよりよく生きる力を身に付けるために読書活動が重要な役割を果たすことが社会的に認識され、国においては平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定され、全国的に学校図書館の整備充実が図られてきている。三次市においても、平成22年に「三次市子ども読書推進計画」が策定され、今年度はその第三次の取組が推進されることとなっている。しかしながら、近年は急速なSNSの発達により、子どもがスマートフォンやタブレット等で様々な情報を手軽に入手することができるようになり、子どもの本離れが問題となっている。本校児童も例外ではなく、校内の読書環境が充実しているにもかかわらず、読書意欲の低い児童が多くなってきている。</p> <p>そこで本年度は、子どもが自分と読書とのかかわりについての考えを深め、生涯にわたって豊かな読書生活を送ろうとする意欲を高める読書教育の創造に取り組む。平成28年の中央教育審議会答申において、「読書は、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである。」とされたことを踏まえ、小学校国語科の学習指導要領では、各学年において国語科の学習が読書活動に結び付くよう「読書」に関する指導事項が位置付けられている。このことから、本校のこれまでの読書教育を継続・発展させることに加えて、国語科を中心として、授業における学習が読書活動に結び付くように工夫することで児童に読書の意義や効用を実感させ、自ら進んで読書し、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養うことを目指し、本研究主題を設定した。</p>
研究仮説	<p>○国語科を中心として授業における学習を読書活動と結びつけるように工夫すれば、児童が自ら進んで読書し、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養うことができるであろう。</p> <p>○学校や家庭における読書活動を充実させ、児童に読書の楽しさや効用を実感させれば、児童の読書意欲を高めることができるであろう。</p>
研究推進の方法・方策	<p>(1) 読書活動を取り入れた授業づくり (ともに高め合う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆国語科を中心とした読書活動を取り入れた単元づくり <ul style="list-style-type: none"> ○各教科・領域の年間計画に読書活動を位置付ける。 ○はじめ（事前動機型）、中（並列情報型）、まとめ（日常発展型）に読書活動を取り入れた単元構成の工夫を行う。 ○国語科における読書活動充実のための理論研修と授業研究を行う。 <p>(2) 読書活動の充実（読書に親しむ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日常的な読書の指導による読書の習慣化 <ul style="list-style-type: none"> ○読書朝会・読み語り朝会を充実させる。 ○ペア読書・親子読書など友達や家族との交流を図る。 ○「こどもの本総選挙」への参加や「本のメッセージカード」作りなど感じたことを表現する活動を仕組む。 ○文化委員会を中心として児童主体の読書活動を充実させる。 <p>(3) 読書環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆公共図書館と連携した校内読書環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ○各教科の授業で活用できる図書を整備する。 ○図書館司書と連携して、児童や教員の要望に合わせた整備を行う。
検証の指標と達成目標	<p>(1) 児童アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読書が学習に役立つと感じる。」 80%以上 ○「読みたい本がある。」 80%以上 <p>(2) 職員アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「読書活動を取り入れた授業改善に取り組んだ。」 100% <p>(3) 外部アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「子どもは家で読書をしている。」 70%以上 ○「学校は子どもの読書意欲を高める指導の工夫を行っている。」 80%以上